

\* 2023 年度に履修登録された GBO4（経済学）とは別科目になりますのでご注意ください

教養教育科目

講義科目

授業科目名	経済学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	深澤 竜人	FB71	—	4
<b>科目の概要</b>				
<p>本科目では、いくつかある経済学の中で、スタンダードなものを学んでいく。いわゆる、ミクロ経済学・マクロ経済学と言われているものである。</p> <p>標準的な個人あるいは家計および企業は、与えられた条件の下で、どのように合理的な消費や選択をするものなのか、あるいはしていけばいいのか、という消費行動と企業活動の理論がミクロ経済学である。また、広く・大きく一国全体として、生産と消費は国を挟んでどのようにになっているのか、政府の経済政策はどうなっているのか、これらを見ていくのがマクロ経済学である。</p>				
<b>科目の到達目標</b>				
<p>①経済学の基礎知識を基に経済現象の相互関連や因果関係について説明できる。</p> <p>②経済のグローバル化と今後のわが国の経済政策について考察できる。</p>				
テキスト	『入門経済学』井堀 利宏, 新世社, 2016年			
<b>テキストの読み方</b>				
<p>①テキストによって現代経済学の主流派となっているマクロ経済学・ミクロ経済学のエッセンスを学ぶ。</p> <p>②経済学のまったくの初心者には、テキストの忠実な理解にまず努めること。その中で、いくつかの疑問点が出てくると思われるが、現代の経済学とはそうした分析方法を採っているものだという事を、ひとまず認識しておくことが大切である。</p> <p>③ただ経済学は1つではなく、テキスト以外の多くの文献（下記の参考文献など）にあたり、経済学の多様なものを認め、自身にあった方向での追究を試みる。特にテキストの内容を日常の仕事や生活と合わせて考察し、テキストの内容の理解や別な経済学の探求に進むとよい。</p>				
<b>単位修得の方法</b>				
<p>①レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。または、</p> <p>②基本レポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、4単位を修得できる。この場合、応用レポートの提出は不要。</p>				